



安曇野

市議会だより

第30号

発行 安曇野市議会
平成25年5月15日



安曇野一望（長峰山より）

主な内容

Contents

- ・平成25年度一般会計予算審議 …………… 2
- ・3月定例会で決まりました …………… 4
- ・3月定例会一般質問・市政のここが聞きたい … 7
- ・委員会視察研修報告 …………… 17
- ・ピックアップ常任委員会 …………… 18
- ・市民の声・編集後記 …………… 20

市議会ホームページ
<http://www.city.azumino.nagano.jp/gikai/index.html>

議事録閲覧
http://www.gijiroku.jp/gikai/c_azumino/index.html



自転車安全教室

人口と世帯 平成25年（2013年）5月1日現在 ※（ ）内は対前月比

人口：99,232人(+24) / 男：48,121人(+4) / 女：51,111人(+20) / 世帯37,847世帯(+58w)

Q 市民生活が大変苦しい中で、予算書では個人市民税が増収になっている。その算出根拠と税収の見込みは本当にあるのか。

市税について



現しやくなげ荘に隣接する温浴施設用地

A Q 温浴施設の規模と運営方法についての考えは。温浴施設の候補となった提案では、延べ床面積1659.34平方メートル、露天風呂、デッキ、ポーチを含む面積として2006.96平方メートルである。駐車場の台数は296台で、隣のVifとの併用も可能である。運営体制については、指定管理者による管理運営を前提としている。

温浴施設整備事業について

質疑

平成25年度 一般会計予算総額 389億円

(前年度当初予算額 370億5,000万円 対前年度 18億5,000万円増 5%増)

平成25年度の予算編成は、国の概算要求等、国や県の動向を踏まえ住民福祉の向上を念頭に、「予算編成の基本方針」と「重点事業」に沿って編成され、3月19日に議会で議決しました。



(新本庁舎完成イメージ図)

Q 前年所得と、過去の3年間の変動や、24年度3号補正の所得を基礎として、総務省、シンクタンク等の調査をもとに所得額を推計した。営業所得、不動産所得については5%減の95%、給与所得は前年並み、株式等は2割減を見込み、収納率は前年並みの96.7%で41億9000万円を計上した。

穂高会館耐震補強等改修工事について

Q 改修工事全体の目的と、それに沿って実施設計をしている内容、この工事の総額と工期について伺う。

A 穂高会館は、全体工事として14億5215万円ほどを予定している。22年度に耐震診断がされ、24年度実施設計をし、25年度、26年度に分けて工事をする。25年度には4割程度を行う予定である。4月以降入札等を行い、6月定例会に議案を提出し、7月以降着手したい。公民館棟を25年12月末までに竣工したい。



耐震補強等改修工事を行う穂高会館

平成25年度一般会計予算の重点事業

① 健全財政維持のための財源確保と経費削減		③ 産業の活性化と観光戦略	
◆本庁舎建設工事外	17億1,935万5千円	◆担い手支援「機械施設整備補助金」	500万円
◆明科総合支所等施設改築事業	2億9,573万8千円	◆生産設備取得費補助事業	3,740万円
◆三郷総合支所等施設改築事業	778万円	◆空き工場、空き店舗活用促進事業	1,062万4千円
◆移住等促進関係事業	168万3千円	◆市制度資金貸付事業	9億5,941万7千円
◆健康長寿のまちづくり推進事業	253万7千円	◆温浴施設整備事業	5億1,843万円
◆認知症早期発見関連経費	89万円	◆近畿・九州圏の観光キャンペーン	129万6千円
② 安心・安全で住みよい環境整備と生きがい対策		④ 郷土の理解と協働による地域の絆	
◆災害時非常用品備蓄事業	5,484万9千円	◆つながりひろがる地域づくり事業	500万円
◆公立保育園整備(三郷南部・アルプス保育園)	3億6,443万4千円	◆協働のまちづくり推進基本方針策定	77万8千円
◆地下水の保全・涵養及び適正利用	174万5千円	◆農地・水保全管理支払交付金事業	3,072万2千円
◆公園施設長寿化計画策定	1,400万円	◆中学生議会	2万8千円
◆穂高公民館耐震補強工事	5億8,863万4千円	◆歴史的公文書目録作成	624万8千円
◆水道事業出資金(三郷地域水源転換関係外)	5億1,520万円	◆地区公民館補助事業(運営・建設補助)	6,882万5千円

平成25年度各会計別予算額(千円)

会計名	平成25年度当初予算
安曇野市一般会計	38,900,000
特別会計	
安曇野市同和地区住宅新築資金等貸付事業	742
安曇野市国民健康保険	10,688,245
安曇野市後期高齢者医療	890,543
安曇野市介護保険	8,257,437
安曇野市下水道事業	4,405,074
安曇野市農業集落排水事業	192,573
安曇野市上川手山林財産区	2,089
安曇野市北の沢山林財産区	462
安曇野市有明山林財産区	1,055
安曇野市富士尾沢山林財産区	892
安曇野市穂高山林財産区	870
安曇野市産業団地造成事業	99,155
総計(一般会計+特別会計)	63,439,137

本庁舎建設工事について

Q 25年度は本庁舎工事16億9200万円、外構工事を含めた全体では17億1900万円余の予算だが、本庁舎工事についての中身と、今年以降の計画概要は。

A 16億9200万円は、入札前の金額であり、25年度の出来高を45%に想定し、24年度に支払う前払金を引いて算出した。25年度については、土木工事と建築の構造部分の施工を主に進め、年度末頃には、サッシや壁の取り付けを行う。26年度は仕上げの年になり、26年12月19日に完成予定である。

3月定例会で決まりました

条例 制定
 水資源保護に向けて
 議案第5号 安曇野市地下水の保全・涵養及び適正利用に関する条例
可決

地下水利用に関する規制や地下水の保全および涵養に対する具体的な取り組みを規定しました。

質疑
Q 条例制定は評価する。だが、この条例で地下水の保全・涵養が本当に守れるのか。
A 届け出制、協議制の取水ルールが中心の条例で、この4月に施行したい。公水であるとの認識に立ち、審査委員会が適正な採取量を指導するところが、実質的な上限規制と考える。地下水を利用する全ての方に1つの算定方式で涵養面積の拡大を図り、経費の負担の検討を進めたい。

Q 水張り田の効果はどうか。
A 水張り田は蒸発散部分を差し引いて、地下に浸透していることは確実である。

Q 広域協定との関係はどうか。
A 2月20日に11市町村長が集まり環境省、国土交通省、法務省等、長野県選出の国会議員宛に要望書を提出した。



名水百選のわさび田湧水群

基本構想
 「北アルプスに育まれ共に響き合う田園産業都市安曇野」へ
 議案第44号 第1次安曇野市総合計画基本構想の変更(2022)
可決

第1次安曇野市総合計画基本構想の将来都市像を「北アルプスに育まれ、この輝く田園都市安曇野」から「北アルプスに育まれ共に響き合う田園産業都市安曇野」へ変更しました。

賛成討論
 より活力ある前向きなメッセージを持つ安曇野市の総合計画基本構想である。将来都市像を「北アルプスに育まれ 共に響き合う 田園産業都市 安曇野」とすることに賛成する。

反対討論
 第2章の将来都市像で、「この輝く」にかわって「共に響き合う」とし、「田園都市」の「田園」の後に「産業」を加えるという点だが、この2つの言葉について、変えなければいけないことの根拠が乏しい。

合併協議において「産業」を入れずに「田園都市」ということで長い間の議論がなされた。今年8年目に至っているが、中間で変更することは、この「田園」に「産業」がつくことにより、安曇野自体のイメージが変わってしまうので反対する。



豊作を願っての田植え

平成24年度 安曇野市一般会計補正予算

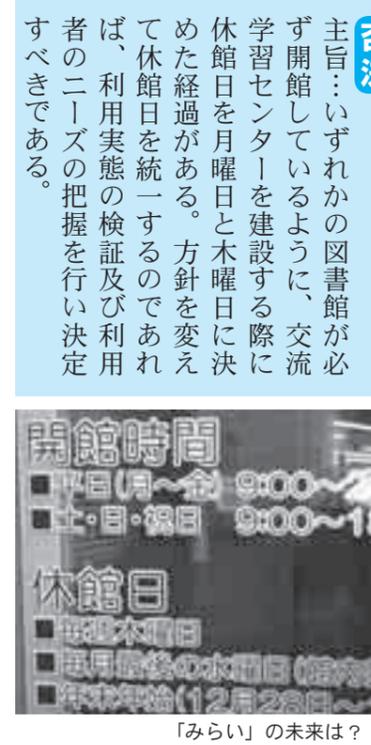
補正予算額 6,400 万円を追加し、補正後の予算額は 378 億 4,500 万円となりました。

条例 改正
 「みらい」の休館日を変更
 議案第19号 安曇野市図書館条例及び安曇野市交流学習センター条例の一部を改正する条例
可決

中央図書館及び徳高交流学習センターの休館日を統一し、徳高交流学習センター内の一部を新たに貸し出すための規定を設ける条例改正をしました。

修正案に賛成
 中央図書館及び徳高交流学習センターの休館日を統一し、徳高交流学習センター内の一部を新たに貸し出すための規定を設ける条例改正をしました。

否決
 主旨：いずれかの図書館が必ず開館しているように、交流学習センターを建設する際に休館日を月曜日と木曜日に決めた経過がある。方針を変えて休館日を統一するのであれば、利用実態の検証及び利用者のニーズの把握を行い決定すべきである。



「みらい」の未来は？

討論
原案に賛成
 「みらい」の月曜日の多目的ホールの稼働率は平均20%と低い。利用者の要望は週末のイベントの練習や準備として木曜日の開館が多い。また図書館利用者との相乗効果が期待できる。公共図書館の85%が月曜日休館なので、他の図書館からの希望する本の貸し借りのサービスが向上される。

修正案に賛成
 市民の皆さんが利用しやすいように休館日を月曜日と木曜日に決めた経過がある。まず、市民に休館日の統一について問い、市民の声を運営に生かすべきと考え、修正案に賛成する。24年の8月から9月にかけて図書館の満足度調査によると、少なくとも利用者は、休館日を統一してほしいという声は聞こえてこない。

除雪対策費
Q 除雪費用が4400万円の増額になっている。凍結防止剤は18万3000円の計上で、果たして足りるのか。
A 凍結防止剤は塩カル購入費として別に730万円を需要費で計上してある。除雪対策費は除雪業務委託料と、凍結防止剤散布業務委託料で合計4400万円を計上した。

子ども手当
Q 市内業者を対象とした下請採用面接会を開催するというが、いつごろどんな形で行うのか。
A 市のホームページの掲載、建設労連、建設業組合などへ周知依頼をし、遅くとも4月下旬までには実施する。お見合い方式で元請業者にアピールしてもらい、話をしてもらう形を考えている。



本庁舎建設
Q 安曇野市の新本庁舎建設工事請負契約において、市内業者への下請要件が金額で建築工事2億7000万円、機械設備工事1600万円、電気設備工事1800万円である根拠は何か。
A 元請の工程管理上障害にならない範囲で最低額を市の職員が積算した。

Q 制度変更により、4057万4000円の子ども手当が減額になっている。市民に与える影響は大きいと思うが周知徹底の努力は。
A 平成24年6月支給分から児童手当として支給したが、所得制限が設けられたための減額である。子育てガイドブックや、転入、出生等の届け出の際の案内で、周知している。



平成 25 年安曇野市議会 3 月定例会審議結果

【市長提出議案等】

Table with 3 columns: 議案番号, 件名, 結果. Lists 31 items including budget items and various regulations.

Table with 3 columns: 議案番号, 件名, 結果. Lists 31 items including budget items and various regulations.

【修正案】

Table with 3 columns: 件名, 結果. Lists 1 item regarding a budget amendment.

【請願】

Table with 3 columns: 番号, 件名, 結果. Lists 2 items regarding petitions.

【議員提出議案】

Table with 3 columns: 番号, 件名, 結果. Lists 6 items proposed by council members.

健康長寿のまちづくりは認知症を除いては考えられないと思うが。市長 介護認定者の約6割が認知症とされ、その対策は重要・急務だ。問 25年度から始める検査の内容、対応は。健康福祉部長 「ファイブ・コグ方式」(脳機能のうち、記憶、注意、言語、視空間認知、思考の5つをはかるもの)で早期発見が期待され、対応として医療機関の受診、介護予防事業への参加を促す。

健康福祉部長 認知症支援ネットワークを立上げる。警察、消防、医療機関、介護保険事業所、民生委員等代表者で構成。見守り体制、行方不明時の対応等検討したい。子育て支援のまちづくり 新本庁舎は妊娠中や出産後の乳幼児等、親子連れにやさしい設計になっているか。総務部長 全ての方が利



認知症の高齢者と家族を支えるために

信進クラブ

平林 徳子

目にはジャマ、下着の要望があるがどうか。健康福祉部長 ①介護ストレス等々のなか虐待が発生している。22年度11件、23年度12件、24年度2月末12件。職員が家族と面接し助言等している。②家族介護者の交流事業を実施し、心身のリフレッシュ、介護知識の情報交換を図っている。③地域支援事業の規定に抵触し、困難である。問 地域での取り組みはどうか。健康福祉部長 児童館、保健センター等19施設あるが、授乳室設置はゼロ。空きスペースを区切る等して提供したい。問 ①ファミリーサポート事業を、急な依頼、短時間、夜間等使いやすいものにはできないか。②出生届の時赤ちゃんシール(子育て支援シール)の配布はどうか。健康福祉部長 ①速やかな対応を指示、指導する。②検討したい。



薬剤空中散布で松くい虫被害をくい止められるか

日本共産党安曇野市議団

下里 喜代一

問 本市の松くい虫の被害が甚大になっている。なぜ薬剤(マツグリーン液剤：成分アセタミプリド：ネオニコチノイド系殺虫剤)空中散布を選択したのか。散布量、エリア、安全性はどうか。市長 市が取り組むべき2つの対策を決定した。アカマツ林から広葉樹林などへの樹種転換をはかる。薬剤空中散布を2013年度試験的に大口沢25ha、6、7月に2回、無人ヘリコプターで実施する予定だ。農林部長 やみくもに実施するものではない。守るべき松林を確実にする上で実証されている薬剤空中散布が一番効果的であり、実施することを決めた。

問 マツノマダラカミキリが駆除できているか確証がないと薬剤散布は効果がないと思うが。農林部長 風速3m以上降雨の場合はやめる。高度2〜4mで飛行し、松にかけた部分に薬剤を散布する。体長3cm以下という小さなカミキリなのである程度死骸確認はできていても全体像を掴む検証は難しい。問 サビマダラオオホソカタムシ(昆虫)、ヤマガラ、アカゲラなど(鳥)、ポーベリア菌(微生物)といったマツノマダラカミキリの天敵を活用した低コストの防除資材であれば、環境基本計画、地下水保全・涵養条例に合致した駆除・防除対策と



マツノマダラカミキリ

25年度総予算389億円、 今後の財政運営について



無所属連合

吉田 満男

問 25年度の一般会計総予算は389億円、前年度比5パーセントの増額で今までの最高となっている。今後の財政運営及び財政規律を考慮するうえにおいて、ハード事業費での公共施設の在り方は、「ストックの時代」と考えるがどうか。

市長 市において、人口減少が予測されるが、何としても10万人都市を目指していきたい。特に就労人口の減少、これは歳入予算の根幹であるので、税収等の減収を意味している。高齢者人口の増加等により社会保障の占める割合が年々増加している状況であるが、公共施設などの社会資本の整備も多くの市民から要望が寄せられており、まだ充足した状況にはない。

市長 市において、人口減少が予測されるが、何としても10万人都市を目指していきたい。特に就労人口の減少、これは歳入予算の根幹であるので、税収等の減収を意味している。高齢者人口の増加等により社会保障の占める割合が年々増加している状況であるが、公共施設などの社会資本の整備も多くの市民から要望が寄せられており、まだ充足した状況にはない。

見送った事業は明科南部保育園である。また、防災・災害情報等伝達システムの整備事業、徳高会館の耐震補強改修事業を2カ年事業とした。
総務部長 国家公務員の給与減額支給措置を踏まえて、地方公共団体も速やかに国に準じて必要な措置を講ずるよう要請が出ている。給与減額の補正予算や条例改正をする場合には6月の議会でお願したい。



晴れの入学式（徳高西中）

義務教育目標の位置付けについて
見送った事業は明科南部保育園である。また、防災・災害情報等伝達システムの整備事業、徳高会館の耐震補強改修事業を2カ年事業とした。
総務部長 国家公務員の給与減額支給措置を踏まえて、地方公共団体も速やかに国に準じて必要な措置を講ずるよう要請が出ている。給与減額の補正予算や条例改正をする場合には6月の議会でお願したい。

がん検診受診率向上のために



公明党

藤原 陽子

問 休日がん検診の取り組みができないか伺う。
市長 検診機関、医療機関との調整が必要であるため、今年度は難しいが、受診環境の整備という点で、検診機関や、医療機関とも連携しながら、可能な限り、今後検討をさせていただきます。担当部局と積極的に相談しながら、受診率の向上に努めたい。

問 複数のがん検診の実施について伺う。
健康福祉部長 現在、胃と大腸については一緒にやっている。今年度についてはこの体制で考えているが、検討できることがあるれば、検討していく。

問 期日前投票の宣誓書の記入について、待ち時間の解消や、高齢者が緊張しないためにも、入場券に印刷して、自宅で記入できないか伺う。
総務部長 昨年の衆議院選挙の際、期日前投票を

問 期日前及び不在者投票の宣誓書は、ホームページにて様式を掲載してあればダウンロードできるので、有権者の負担軽減になり、若い世代も参加しやすいのではないかと。
総務部長 市のホームページ掲載についても、参議院選挙より、行うということが決定されている。

問 市で取り組むファイブ・コグ方式と両輪で、福井県若狭町モデルのような、対処法がアドバイスできる看護師による訪問支援ができないか。
健康福祉部長 民生委員が訪問しているが、認知症が疑われる特に心配な方は保健師による訪問をしている。今後訪問件数の増加、状況の変化により、検討していく。



信進クラブ

藤原 廣徳

合併効果によるまちづくり 市民意向調査結果は

問 安曇野市発足8年目、合併効果によるまちづくりと、昨年2月実施の市民意向調査（満足度）の結果による重要度が高く満足度の低い「歩道や通学路の整備」については重要課題であるがこの整備に関する現状認識と対応について伺う。

都市建設部長 通学路の安全確保は重要な課題であると認識している。昨年実施した通学路の緊急合同点検結果とその対応については、市内32カ所で実施し、そのうち安全施設整備を要する箇所が20カ所認められた。それぞれ道路管理者が異なるが、長野県には対応いた

市長 自立性・自主性の高いまちづくりを目指し、職員数の適正化や行政改革大綱に基づく意識改革のもと、指定管理者制度を活用し民間委託による第三セクターの見直しと更に市民参加システム、広聴制度の充実など行政運営の効率化及び市民との協働によるまちづくりを進めてきた。

次に通学路の歩道整備状況は小・中各学校から半径1km圏内の通学路延長に対する歩道整備率は全体で30%また全通学路に対する歩道整備率は全体で25%となっている。補助金等の活用を図りながら児童生徒の通行が多く学校に近い必要箇所から歩道の整備促進を図

問 国際社会への対応能力などが必要になってきている。語学力、礼儀作法なども合わせどのような教育していくのか。
教育長 新規事業として生徒の語学力向上の成果を上げることが狙いとして、希望する者には課外活動において国際共通語ともなりつつある英語を使用する機会を積極的に提供していく。

問 周辺整備全体の整備規模について伺う。
商工観光部長 敷地面積としてはビフまで含め4ヘクタール、更に遊歩道や周辺道路を含め相当広いエリアの構想を考えていく。

問 近年、空き家の増加は過疎地域のみならず全国的な傾向にある。適切に管理されずに放置された空き家は、近隣の防犯や景観、環境、衛生の悪化、倒壊等の危険性があり大きな行政課題となると考える。市の空き家問題の認識、空き家の実態把握・調査の現状および今後の取り組み、特に周辺に問題を抱える空き家の対策を伺う。
企画財政部長 これまで独自に空き家の実態調査は行ってない。今後、ライフスタイルの変化や持ち家に対する価値観の変化などにより住宅の需給バランスが崩れ、空き家が増加すると考えられる。周辺に対して問題のある空き家や有効活用が



公明党

松森 幸一

空き家の実態把握と「放置された空き家」への対策

問 空き家に対する価値観の変化などにより住宅の需給バランスが崩れ、空き家が増加すると考えられる。周辺に対して問題のある空き家や有効活用が

問 空き家対策のため所管部署の一元化や所有者に空き家の適正管理を義務づける条例制定が必要と考えるが見解を伺う。
市長 空き家は私有物であり所有者の責任で管理することが基本であるが、所有者が住んでいないか、所有者が不明等で長期間空き家となり近隣住民に不安感が広がっている状況がある。区や関係団体と連携を図ることを前提としながら、庁内の関係部署でしっかり検討



「空き家」の相談窓口

狭義に捉えての「共に響き合う」 具体的な施策について



しん風会

小松 洋一郎

問 後期5年間の基本計画が策定され、将来都市像を「北アルプスに育まれ共に響き合う田園産業都市」に変更された。「共に響き合う」具体的な施策を伺う。

市長 地域の一体感と同時に、各種産業との連携や福祉・健康・環境・文化などが市民、事業者、自治会などと絆を強め助け合って相乗効果を生み出す思いで共に響き合う田園産業都市とした。具体的な施策として、「健康で暮らせる喜びを実感できる活力あるまちづくり」を目指して、47の分野別基本施策と147の具体的な施策をあげている。狭義な施策としては、「協働によるまちづくり」の中で、地域型コミュニティの強化や区への加入促進を図っていく。

がら、区への協力を積極的に進めていく。
人口増加対策について
問 当市の人口は、平成28年より減少する報告であるが、安曇野市移住・定住促進会議並びに都市圏での広報活動の内容について伺う。

か。
市長 例えば、財政的な援助として灯油の支援固定資産税の減免なども一つの方策と考える。
都市建設部長 アルプス大橋の開通により、梓橋の通勤時渋滞長は、1345mから260mに改善された。老朽化した橋梁であるが、県の橋梁健全度調査等から暫く経過観察となっている。渋滞緩和等、橋梁架け替えのみならず広域的な観点から検討していく。
【その他の質問事項】
○空き家対策について

市長 指摘のとおり、国保医療関係は平均約2億円程伸びている。全国的には医療費の約3割は生活習慣病が占め、その対策は健診受診率の向上を図り、健診データをもとに発症予防を重点に、重症化予防のため保健指導をきめ細かく取り組む。また、個人の健康を支えるために、地域での健康体操教室、学習会、栄養教室、ウォーキング等充実し財政的にも支援する。全ての世代が、住み慣れた地域で健やかに生き生き生活できる市を目指して市民の主体的な活動を支援しながら健康長寿のまちづくりを実現し、医療費の抑制に努める。

問 国民健康保険特別会計の医療諸費の抑制について、団塊の世代が65歳を迎え、ますます医療諸費が伸びると予想される中で、「健康長寿」のまちづくりを重点施策に位置づけているが抑制の取り組みについて伺う。

市長 指摘のとおり、国保医療関係は平均約2億円程伸びている。全国的には医療費の約3割は生活習慣病が占め、その対策は健診受診率の向上を図り、健診データをもとに発症予防を重点に、重症化予防のため保健指導をきめ細かく取り組む。また、個人の健康を支えるために、地域での健康体操教室、学習会、栄養教室、ウォーキング等充実し財政的にも支援する。全ての世代が、住み慣れた地域で健やかに生き生き生活できる市を目指して市民の主体的な活動を支援しながら健康長寿のまちづくりを実現し、医療費の抑制に努める。



区の新入居者紹介場面

医療費の伸び抑制は 特定健診40・50歳無料に



信進クラブ

黒岩 宏成

問 市の生活習慣病の現状と課題は何か。
健康福祉部長 市は国・県に比べ脳血管疾患が高く、原因は高血糖、高血圧と言われ、この原因と対処法を個別に指導する対策が大事だ。

問 特定健診事業の受診率は平成24年度目標65%に对比約40%の見込みであり、特に40歳50歳代の受診率が10%台と低い。早期発見、早期治療で医療費を削減するために「節目の健診」を無料にできないか。また、検査内容を充実できないか。

ち、思わぬ病気の早期発見、早期治療に役立ち、継続受診、受診率向上に期待できるので40歳、50歳の節目健診を医師会との調整ができれば25年度から実施を考える。検査内容の充実が国で決めている必須検査項目のほか、腎臓機能の数値をはかる血清尿酸と血清クレアチニンの検査及び貧血検査を独自項目として追加している。

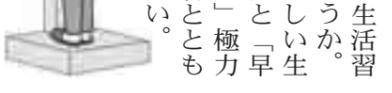
問 特定保健指導について、保健師、栄養士等、健康推進委員は足りているか。
健康福祉部長 現状の人員で効果的、効率的にやっています。

市民環境部長 特定健康診査は平成20年の制度開始以来約9%向上しているが、年齢、性別ごとの受診状況は40代、50代は非常に低い。この世代は仕事や家庭、子育て等大変多忙で健診に行くことが難しいと考えられる。健診を受診するきっかけづくりとして、自分自身の健康管理に関心を持つ。

問 児童・生徒の生活習慣と送迎対策はどうか。
教育次長 規則正しい生活習慣のチェックと「早寝早起き朝ごはん」極力徒歩通学を保護者とともに指導徹底をしたい。

問 現代において未成年者の犯罪等、人の道から外れる事案が多く発生している。道徳心、倫理観が喪失している。
教育3本の柱「知育」「德育」「体育」のうち、「德育」道徳教育に問題があると思っている。
教育長に、どのように感じてもらえるのかお聞きする。

問 判断、集団や社会の決まり等々。以前は、家庭で養われていた部分も大きかった。
これを今、学校教育のなかで補っていかねばならない実情もある。道徳心を備えた子どもたちを育てていかねばと、改めて実感している。
問 道徳教育に使用する資料は、使う、使わないというのは教師の判断でできる。全国に配布が決まった「心のノート」がある。道徳の副教本として適切である。
ぜひ使ってほしいと思いを込めて、実際に使うのか、どのような扱いをするのか、教育長にお聞きする。



移住・定住の促進で10万都市を目指す施策について



公明党

小松 芳樹

問 先日、移住・定住促進会議を傍聴させていただいた。委員からは大変前向きで活発な意見が出され、私も以前から考えていたこともあり今回質問する。まず、第1次総合計画基本構想の後期基本計画の人口見通しでは、前期計画を変更し10万には届かない上での計画となっているが、人口動態から今後の具体策を伺う。

市長 平成28年度から市内の人口は減少に転じると予想される。人口減に歯止めをかけるべく、行政と民間による様々な取り組みをし、連携協力をし合いながら政策を進める。「住んでみたい。住んでよかった」と言われるような市を実現するため、安曇野市移住・定住促進会議からも、既成概念にとらわれない、新しいアイデアを頂戴しながら、人口10万人達成に向けて進むべき方向、施策を明らかにしていきたい。

問 産業の活性化について、企業誘致するにも安曇野産業団地はあと残り1区画だ。企業誘致しやすい環境を整える準備はあるのか。
商工観光部長 従来までの土地の立地条件などのほかに、地域資源が活用できるかということも明確に企業側に伝える必要がある。安曇野市で生産活動していく上でのメリットを感じてもらうことが、今後必要になることを踏まえて検討していく。

問 人口増減から見ると新規就農者や親元農家の支援も重要な施策と考えるが、25年度の施策について伺う。
農林部長 農業の後継者不足に対しては、認定農業者に限るなどの条件はあるが、親元就農支援金制度を設けた。また、Iターン等で新規に就農希望者に対しては、22年度から生活支援基金制度を創設しているが、24年度から始まった国の青年就農給付金制度の方が有利なため、要件に合う方はそちらに移行していく。また、制度だけではなく農業再生協議会のなかで、就農支援室を設けた。市の担当者とJAの担当者が一体となって、食べていける農業経営の後押しをしていく。

問 移住予定者の中には、幼稚園を希望する声を聞く。市内には穂高に1園あるのみで南部地域にはない。そこで、国で8月に「子ども子育て3法」が成立したのを受け、市内でも認定こども園を造る可能性について伺う。
市長 望ましい保育を選択できる環境を作るために、幼児教育と保育を一体的に提供する施設の必要性はある。ただ児童の受け入れに伴う保育士の雇用の確保などの課題がある中で、創設を含めた検討は進めたい。

問 国民健康保険特別会計の医療諸費の抑制について、団塊の世代が65歳を迎え、ますます医療諸費が伸びると予想される中で、「健康長寿」のまちづくりを重点施策に位置づけているが抑制の取り組みについて伺う。
市長 指摘のとおり、国保医療関係は平均約2億円程伸びている。全国的には医療費の約3割は生活習慣病が占め、その対策は健診受診率の向上を図り、健診データをもとに発症予防を重点に、重症化予防のため保健指導をきめ細かく取り組む。また、個人の健康を支えるために、地域での健康体操教室、学習会、栄養教室、ウォーキング等充実し財政的にも支援する。全ての世代が、住み慣れた地域で健やかに生き生き生活できる市を目指して市民の主体的な活動を支援しながら健康長寿のまちづくりを実現し、医療費の抑制に努める。

問 現代において未成年者の犯罪等、人の道から外れる事案が多く発生している。道徳心、倫理観が喪失している。
教育3本の柱「知育」「德育」「体育」のうち、「德育」道徳教育に問題があると思っている。
教育長に、どのように感じてもらえるのかお聞きする。

問 判断、集団や社会の決まり等々。以前は、家庭で養われていた部分も大きかった。
これを今、学校教育のなかで補っていかねばならない実情もある。道徳心を備えた子どもたちを育てていかねばと、改めて実感している。
問 道徳教育に使用する資料は、使う、使わないというのは教師の判断でできる。全国に配布が決まった「心のノート」がある。道徳の副教本として適切である。
ぜひ使ってほしいと思いを込めて、実際に使うのか、どのような扱いをするのか、教育長にお聞きする。

問 国民健康保険特別会計の医療諸費の抑制について、団塊の世代が65歳を迎え、ますます医療諸費が伸びると予想される中で、「健康長寿」のまちづくりを重点施策に位置づけているが抑制の取り組みについて伺う。
市長 指摘のとおり、国保医療関係は平均約2億円程伸びている。全国的には医療費の約3割は生活習慣病が占め、その対策は健診受診率の向上を図り、健診データをもとに発症予防を重点に、重症化予防のため保健指導をきめ細かく取り組む。また、個人の健康を支えるために、地域での健康体操教室、学習会、栄養教室、ウォーキング等充実し財政的にも支援する。全ての世代が、住み慣れた地域で健やかに生き生き生活できる市を目指して市民の主体的な活動を支援しながら健康長寿のまちづくりを実現し、医療費の抑制に努める。

安曇野市における小・中学生の 道徳教育について



常念会

内川 集雄

問 現代において未成年者の犯罪等、人の道から外れる事案が多く発生している。道徳心、倫理観が喪失している。
教育3本の柱「知育」「德育」「体育」のうち、「德育」道徳教育に問題があると思っている。
教育長に、どのように感じてもらえるのかお聞きする。

問 判断、集団や社会の決まり等々。以前は、家庭で養われていた部分も大きかった。
これを今、学校教育のなかで補っていかねばならない実情もある。道徳心を備えた子どもたちを育てていかねばと、改めて実感している。
問 道徳教育に使用する資料は、使う、使わないというのは教師の判断でできる。全国に配布が決まった「心のノート」がある。道徳の副教本として適切である。
ぜひ使ってほしいと思いを込めて、実際に使うのか、どのような扱いをするのか、教育長にお聞きする。

問 国民健康保険特別会計の医療諸費の抑制について、団塊の世代が65歳を迎え、ますます医療諸費が伸びると予想される中で、「健康長寿」のまちづくりを重点施策に位置づけているが抑制の取り組みについて伺う。
市長 指摘のとおり、国保医療関係は平均約2億円程伸びている。全国的には医療費の約3割は生活習慣病が占め、その対策は健診受診率の向上を図り、健診データをもとに発症予防を重点に、重症化予防のため保健指導をきめ細かく取り組む。また、個人の健康を支えるために、地域での健康体操教室、学習会、栄養教室、ウォーキング等充実し財政的にも支援する。全ての世代が、住み慣れた地域で健やかに生き生き生活できる市を目指して市民の主体的な活動を支援しながら健康長寿のまちづくりを実現し、医療費の抑制に努める。

問 国民健康保険特別会計の医療諸費の抑制について、団塊の世代が65歳を迎え、ますます医療諸費が伸びると予想される中で、「健康長寿」のまちづくりを重点施策に位置づけているが抑制の取り組みについて伺う。
市長 指摘のとおり、国保医療関係は平均約2億円程伸びている。全国的には医療費の約3割は生活習慣病が占め、その対策は健診受診率の向上を図り、健診データをもとに発症予防を重点に、重症化予防のため保健指導をきめ細かく取り組む。また、個人の健康を支えるために、地域での健康体操教室、学習会、栄養教室、ウォーキング等充実し財政的にも支援する。全ての世代が、住み慣れた地域で健やかに生き生き生活できる市を目指して市民の主体的な活動を支援しながら健康長寿のまちづくりを実現し、医療費の抑制に努める。

問 国民健康保険特別会計の医療諸費の抑制について、団塊の世代が65歳を迎え、ますます医療諸費が伸びると予想される中で、「健康長寿」のまちづくりを重点施策に位置づけているが抑制の取り組みについて伺う。
市長 指摘のとおり、国保医療関係は平均約2億円程伸びている。全国的には医療費の約3割は生活習慣病が占め、その対策は健診受診率の向上を図り、健診データをもとに発症予防を重点に、重症化予防のため保健指導をきめ細かく取り組む。また、個人の健康を支えるために、地域での健康体操教室、学習会、栄養教室、ウォーキング等充実し財政的にも支援する。全ての世代が、住み慣れた地域で健やかに生き生き生活できる市を目指して市民の主体的な活動を支援しながら健康長寿のまちづくりを実現し、医療費の抑制に努める。

問 国民健康保険特別会計の医療諸費の抑制について、団塊の世代が65歳を迎え、ますます医療諸費が伸びると予想される中で、「健康長寿」のまちづくりを重点施策に位置づけているが抑制の取り組みについて伺う。
市長 指摘のとおり、国保医療関係は平均約2億円程伸びている。全国的には医療費の約3割は生活習慣病が占め、その対策は健診受診率の向上を図り、健診データをもとに発症予防を重点に、重症化予防のため保健指導をきめ細かく取り組む。また、個人の健康を支えるために、地域での健康体操教室、学習会、栄養教室、ウォーキング等充実し財政的にも支援する。全ての世代が、住み慣れた地域で健やかに生き生き生活できる市を目指して市民の主体的な活動を支援しながら健康長寿のまちづくりを実現し、医療費の抑制に努める。



道徳授業（豊科東小学校）

「安曇野市平和都市宣言」制定 ついでかふじゅうん



無所属連合

相田 登美枝

問 安曇野市合併8年目、「安曇野市平和都市宣言」が制定された。宣言に寄せる市長の思い入れについて伺う。

市長 日本は世界で唯一の被爆国、核廃絶に向けた運動は大きな柱。戦後67年が経過、次代を担う皆さんが、平和の集いなどを通して、戦争の悲惨さを学習し考え、身近な所から、差別やいじめのない社会を目指すのが第一歩と考えた。

問 市民の声、パブリックコメントの大半が核兵器や戦争のない文言、意を明記してほしいとのことだった。反映出来なかったことについて伺う。

総務部長 この意見は「すべての不安や争い」の中に、含まれているということから、最終的に原文のままが好ましいと決定した。

問 実践を通して、語り継ぐことの重要性。「中学生の広島平和記念式典へ参加派遣、平和の集いで体験発表」はとてもよかったです。永続について伺う。

市長 現在の形を定着、継続させて行きたい。

ハーフマラソンで 誘客と活力を!

問 観光産業はドル箱の時代。人が集まる、金が落ちる、活気が出る。安曇野の魅力はまず、体感してもらおうこと。「安曇野ハーフマラソン」に勝るもの無し。その後の経過と展望について伺う。

商工観光部長 業務委託の調査結果、ハーフマラソン公認コース5000人規模設定と、安曇野を発信していくための大イベントとしてシフトしていくか。大会のコンセプトをよりはっきりする必要がある。

問 ハーフマラソンについてのプロジェクトチームのメンバーはどうか。



平和の集い中学生体験発表

問 のたち上げはどうか。

商工観光部長 今後の検討に当たっては、体育協会、商工会、観光協会等関係者の皆さんと話し合い進めていきたい。

問 安曇野市民挙げてのイベント、対外的PRにつながるイベントの現状について伺う。

商工観光部長 主として「安曇野花火」「よさこい安曇野」「安曇野フェスタ」等がある。

また、イベントは行政が主体ではなく、いろいろな団体と情報を共有、積極的に協力、情報発信をしていくなど、かわっていききたい。

公共施設のあり方についての 現状と今後の方向は



平松 尾 宏

問 平和都市宣言で述べられている平和活動とは何か、またどのような活動を考えているか。

市長 当面の間、戦没者追悼式と平和の集いを同じ会場で一旦区切って行う。教育委員会や学校と連携して平和メッセージなど工夫をしていきたい。

問 小中学生に反映していくような平和の集いについての考えは。

教育長 議員からの意見の内容を工夫しながら進めていく。

問 公共施設のあり方について、現状と今後の方向を伺う。

市長 合併によって同じ機能を持つ複数の施設を保有している。この設置状況が10万人規模の市にふさわしいものか考える必要がある。そのうえ近い将来耐用年数や大規模改修の時期を迎える施設も多く、将来同じ規模で持ち続けることはできない。管理運営経費や利用

状況などの情報も含めた公共施設白書の作成を進めている。白書を行政内部で検討し、続いて外部専門家の提言を求めて、公共施設再配置計画の策定、実践をしていく。

総務部長 白書は今年度中に作成、来年度から委員会等で調査等検討する。

問 本庁舎の建設については行政として内容を公開し、市民の要望を検討する時期ではないか。今後の対応について伺う。

総務部長 基本設計について、市民ワークショップで多くの意見や提案があった。これらを具体的にに取り入れていきたい。現場見学会を予定している。建設記念イベントのアイデア募集をしたが、今後も募集し、それをできるだけ反映し、親しまれる庁舎にと考えている。

問 穂高と三郷の総合支所の今後の方向は。

三郷総合支所長 できるだけ既存建物の活用を考慮する。

え公民館・保健センター棟の耐震補強や改修し支所を併設、整備していく。

穂高総合支所長 現在の位置での改築を今後検討していく。

問 市の運動広場（12カ所）の現状と今後について伺う。

教育次長 夜間の使用は夏場にかけては8割から9割の使用頻度がある。休日は予約でいっぱい。特に6月から9月にかけては満杯状態。開発できる場所があれば計画的に整備していきたい。

問 第三セクターについての市長の考えは。

市長 民間ができるものは民間がすべき。

問 三七クスの基金と納付金の管理について伺う。

農林部長 基金の廃止や統一をせず施設ごとの納付金を必要な修繕に充当している為、民間移管時に基金を支度金には難しい。現在その段取りをしていく必要があると思う。

TPP参加表明について



日本共産党安曇野市議団

猪狩 久美子

問 日米首脳会談を踏まえ発表された共同声明では、関税を撤廃することがTPPの原則としたアウトラインを確認するとしている。そうすると重要品目は全て関税撤廃を求められる。経営規模が100倍、1500倍もあるアメリカやオーストラリアの農業に太刀打ちできない。安曇野市の基幹産業の一つとうたっている農業を持続可能なものにしていくこととTPPは相容れないと思うが。

市長 TPP交渉参加については国論を二分している。我が国が十分な情報公開や国民的議論をもつと尽くして、農業と農村を守る具体的な施策を示さない限り、現状で参加をすべきでないと考える。

問 この3月議会で出されている農業農村振興条例案との関係ではどのようになっているか。

農林部長 市の計画や条例を作る段階でも、かなり難しい状況になることもあるという認識を持ってつくっていただいた。TPPの結果、どのような社会情勢になっても地域を挙げて農業農村へと押し寄せる困難を乗り越えていかなくてはならない、という理念がこの条例には貫かれている。

問 食料主権ということについてはどう考えるか。

農林部長 食料主権、これを担保し確保するのが国の政治だ。

北小倉にある産廃施設の防音壁について

問 この施設の防音壁は、もともとあった5メートルの壁に約4、5メートルの壁が継ぎ足されたが、地域住民の方たちは倒壊の恐れがあると感じ、県と市に危険な状態をなくすための指導をしてほしいと要請書を出した。要請書の回答はされたのか。

市長 市ではこの壁の安全性について擁壁計算などの審査ができる機関がなく、県に審査を依頼した。県からは震度5相当の対応は確保されている。法の保管基準上問題ない、という結果が出された。住民の方々には回答はしている。

問 この問題は2年も経過している。この間住民の方々に納得のいく回答がされていない。丁寧な対応が求められている。また命や環境が守れないような企業として社会的責任を果たしていないような施設には厳しく対応して欲しいが。

市長 県と連携をとりながら、民間の調査等についても検討させていただく。



新本庁舎建設について 住民訴訟がなぜおこされたか



無所属連合 萩原 勝 昭

問 市長が民主的な手続きにのっとり、市民説明、議会議決と適正に事業をすすめてきたにもかかわらず、住民訴訟が起こされた。これは①市長公約（本庁舎については既存施設の活用も含め、市民の皆様の意見を尊重して必要最小限の規模とする。また市長選翌日の平成21年10月12日信毎記事では「市政転換に支持、新庁舎問題見直し」のう具体化」と見出し）の変更についての説明責任を果たしていないこと。

②地方自治法第10条の役務の提供（道路、公園、上下水道、交通事業、学校、図書館、美術館、病院、保育所、墓地等）でない新本庁舎建設について31億9000万円を負担する市民の意見集約をしていないこと。

③7人の議員有志が取り組んだ市民アンケートでは既存施設を使い足りない部分の建て増しが、86・8%の結果であった

問 市長は根拠なく否定したまま進めてきたことにあるのではないか。

市長 それぞれの思いがあつて訴訟を起こしたと捉えている。就任して11月に5地域での説明会をし、市民の意見を伺い、その後地元説明会、市長と語る会、市民ワークショップ等開催し、また「広報あづみの」には基本計画・設計、素案、基本設計のダイジェスト版、通常の記事の他に3回の折り込み、丁寧な報告もしてきた。市ホームページでその都度情報発信し、パブリックコメントも実施し、議会にその都度議決をいただいた。この問題は見解の相違、意見の相違で、かみ合わない課題だと捉えている。

が、市長は根拠なく否定したまま進めてきたことにあるのではないか。

市長 それぞれの思いがあつて訴訟を起こしたと捉えている。就任して11月に5地域での説明会をし、市民の意見を伺い、その後地元説明会、市長と語る会、市民ワークショップ等開催し、また「広報あづみの」には基本計画・設計、素案、基本設計のダイジェスト版、通常の記事の他に3回の折り込み、丁寧な報告もしてきた。市ホームページでその都度情報発信し、パブリックコメントも実施し、議会にその都度議決をいただいた。この問題は見解の相違、意見の相違で、かみ合わない課題だと捉えている。

子育てのしやすい経済的支援を

問 市は平成22年度から5カ年間の次世代育成支援計画を策定した。市長は平成25年度に明科の萩原地区にある萩原墓地公園に約100区画造成する。この一部を合葬墓として整備することが可能か検討したい。

合葬墓の整備について

問 合葬墓の整備計画はどうか。

市長 平成25年度に明科の萩原地区にある萩原墓地公園に約100区画造成する。この一部を合葬墓として整備することが可能か検討したい。

62億円の借金・連結90.2億円の借金で健全財政か



日本共産党安曇野市議員

松澤好哲

問 25年度予算で62億円の借金、連結で90.2億円の借金で健全財政か。起債制限は（平林市政では36億円限りなく夕張になると。）62億円はすべて建設事業で市民の福祉にまわっていないのでは。

市長 62億は市民のため必要建設。建設は財産として後年度活用。後年度負担軽減のため特例債活用。62億円の建設は市民のための事業。
企画財政部長 910億円は平成51年で終わる。
問 前田・岡谷特定建設工事共同企業体への発注は循環型の財政をかなぐり捨てて。分離分割発注しなかったため地元に戻らないのでは。

市長 地元発注できる技術力と経験ある業者がない。
問 12月議会で話のあった、建設内容の金額での公表はいつ。
市長 入札後でも交渉内容、単価の公表は同種の競争入札に影響するた

問 3回の請願・市民アンケートなどに耳を傾けず、積算根拠を明らかにせず、市民の声を聞かないため訴訟になったのでは。10月6日に市民は判断することになると思いますが。
市長 住民訴訟は断じて認められない。公金支出の差し止めという今後司



明科の配水池

法の場合になってしまった。認めることは、今まで何をしてきたかといわれる。二元代表を否定することになる。なんなら、法律に抵触するものではない。
明科の水道の漏水について
問 明科の水道漏水の現状について伺う。また布設替えて50億円を超えるのと聞くがどうか。
上下水道部長 明科の有収水量率は54%程度である。全市の水道事業を整える中で事業計画する。金額については今の段階での算定は不可能である。
市長 いずれかの時期に布設替えが必要。

財政を見据えた市有財産の処置



信進クラブ

宮下明博

問 本庁舎建設を機に、総合支所、公民館をはじめ、市有財産また、年間約1億円払っている借地について整理する必要があると思うがどうか。
市長 合併前の旧町村から引き継いだ土地・建物の、借地については、解消できるものから、逐次解消していく。

問 明科公民館に併設されている農産物加工所を含めた4施設が老朽化が著しく、解体されると聞いている。本来農産物加工所については明科複合施設に併設すべき施設だが、敷地の関係上無理という事で建設が宙に浮いた形となっている。新たに建設すべきだと思うがどうか。
市長 この施設の重要性は認識しているが、利用者の状況や運営方法等を含めて検討し、関係するそれぞれの皆様の声を十分に聞く中で、将来のまちづくりを見据えた対応をしたい。

問 築45年も経過した豊科公民館とホールは6億円もかけて耐震補強して残すべきではない。新たな場所に市民ホールとして合併特例債を適用し建設すべきだ。土地も含め、約70%の補助を頂き建設し、今のホール、公民館、豊科総合支所の跡地は100%の価格で売却すれば、6億円の改修より効率がよいと思うがどうか。
市長 大変前向きな提案だが、現状においては困難で、改修して手を加えながら活用していきたい。
問 穂高プールの借地料が年間約1150万円円で委託料が約860万円、全体の運営費が約2000万円かかっている。使用期間も1カ月半から2カ月で、費用対効果が少ない。このプールは廃止し、1年中利用できる穂高広域のあづみ野ランドにある温水プールを増設すべきだと思うがどうか。

問 築45年も経過した豊科公民館とホールは6億円もかけて耐震補強して残すべきではない。新たな場所に市民ホールとして合併特例債を適用し建設すべきだ。土地も含め、約70%の補助を頂き建設し、今のホール、公民館、豊科総合支所の跡地は100%の価格で売却すれば、6億円の改修より効率がよいと思うがどうか。
市長 提案を前向きに受け止め、穂高広域の施設管理をしている組合議会等でも研究課題として今後議論していきたい。
問 南陸郷地籍の産廃業者が、市が転貸借している土地の契約期限が、6月23日で切れる。なんとしてもこの調停で解決していただきたいがどうか。
市民環境部長 市としては調停により問題解決を図って和解決したいと考えている。内容が固まった段階で議員に諮りたい。
問 市の所有する未利用地が普通財産、行政財産、土地開発基金の関係などたくさんあるが、早く処分すべきと思うがどうか。
企画財政部長 未利用地は約60件あるが、処分可能と思われる土地は8件で昨年1件が落札され、今年度4件を公告している。未利用地は競売等にかけて収入にしたい。

教育再生にむけ学校施設の有効活用を



常念会

山田高久

問 土曜日の有効活用、学校週6日制の復活について、現行の完全週5日制移行は平成14年であり10年が経過した。現在土曜授業を実施している自治体が増えている。国の教育再生にも導入を検討されている。わが市の考えについて。
教育長 ゆとり教育といわれ10年ほど進めてきたが、学力等々検討しなればという声が出てきている。自治体の判断で土曜授業を行っているところが出てきている。内容はバラエティーに富んだもので今までの授業延長という形は少ない。下村文科相も検討する発言をしているので研究しなればと思っているが、今すぐ週6日制にすることは今のところ困難である。

問 放課後の有効活用、放課後子供教室について平成25年、27年度実施計画に三郷児童館・豊科児童館建設に約5億6000万円が計画されている。児童館建設より学校施設の活用考えられないか。
市長 放課後の居場所として、児童館事業9カ所、児童クラブ事業10カ所を実施している。学校施設利用は2カ所で行っている。学校施設を利用するには管理上の課題・時間・活動の制約等課題が多い。学校の協力が得られれば有効活用は可能である。新たに建設するより、学校施設を充実・補完するのが良いか、健康福祉部と教育委員会の間で協議し決定していく。学校施設利用は体育館・グラウンド等の利用は一般にも開放している。空いている所を有効活用することは意義あると考えている。

図書館図書購入について
問 ①選定方法について
②戦前をすべて否定するのでなく肯定思考も入った日本人の誇りを伝える

図書、正しい歴史認識、国家観、道徳・偉人伝等、徳育的蔵書が考慮されているか。
③新聞・雑誌の購入が保革・左右思考バランスよく広範囲に入っているか。
④図書購入費が、24年度予算額より減額の理由は。
教育次長 ①図書館ごと週1回の選書会議を開き購入本を決定している。
②正しい歴史認識や国家観、道徳や偉人伝についても配慮に心がけている。
③偏った情報でなく、中立的な立場で選書している。
④25年度予算は24年度当初予算と同額である。24年度の最終的な予算額は110万円の寄付があり、その分増額になっている。
【その他の質問事項】
○「安曇野市農業農村振興基本条例」について

北小倉の廃棄物処理施設 防音壁の安全確認を急げ



無所属連合

小林純子

問 廃棄物処理業者（以下M社）は、一昨年6月に防音壁を増設した。その壁は薄く波打ったように見えることから、住民は壁の危険性を訴えたが、県は壁の構造計算書等の書類審査だけで震度5に耐えるかと判断。これを受けて市は施設の安全性が確認できたとして、昨年10月に操業許可を更新した。県はこの防音壁の安全性について、市に對しどう説明しているか。
市長 「廃掃法の保管基準上、問題ないと判断する」との報告があった。
問 県の審査結果通知に「安全性に問題ない」「安全性が確保できた」との記述はないが、市は「保管基準上の問題はない」ということをもって「安全性に問題はない」と判断したのか。
市長 県の報告から廃掃法の基準は満たしている」と理解し、安全性上の問題がないと捉えた。

問 審査の過程で県はM社に対して4回の補正をさせているが、この補正の内容を市は承知か。
市民環境部長 4回全ての補正について、県を信頼していたので、その都度どんな内容かまでは承知していなかった。
問 一連の補正の経過を知り現場を確認すれば、安全とは程遠いことは分かったはず。地元住民は県の審査結果に疑問を持ち、審査資料を公文書公開で入手し検証した。M社が県に提出した審査資料には事実と異なる記載があり、防音壁は震度5の地震に耐えられず倒壊の危険があることが判明。この住民側の検証について市の見解は。
市民環境部長 市も現場と図面とで一部違うところは確認している。
問 防音壁の安全性に關し市が取るべき対応は。
市民環境部長 市独自に民間業者に委託して再検査や現地調査をさせる。

問 虚偽の申請であれば一般廃棄物処理業の許可を取り消すべきでは。
市民環境部長 M社が申請書の内容と実際とが異なっていることを知りながら、あえて虚偽の届け出をしたか、単に間違えただけなのか等の事業者の認識が問題となるため、これを軽々に不正だとか虚偽と判断し、許可の取り消しをするのは、現段階では難しい。
【その他の質問事項】
○三郷トマト栽培施設にかかわる第三者委員会の調査結果と市の対応について



調査結果報告書は市ホームページで公表



市長の政治姿勢と政治手法を問う

平浜 昭次

問 今回安曇野市が出来て総合計画を策定し、基本計画においては前期5年を終了し、後期5年計画を策定する段階に来たが、その中で安曇野市の基本構想変更に関する単独議案が提出された。自治法の改正により今後策定の義務付けは無いにせよ、今回は議案として提出した訳だし後期の基本計画と共に又5年で打ち切るという風を受けられるが、提出した以上は基本構想の策定期間は激変要素が無ければ概ね10年とする内閣通知に基づけば、25年から34年を想定するべきであり、掲げるビジョンは人口動態をベースにすれば、当然現状とは明確に違ったものでなくてはならない筈である。

今 今回の提出変更理由の明快な答弁を求める。

市長 基本構想の変更だが、私は選挙のときから共に響き合える安曇野市づくりと7つの政策理念を訴えてきた。工業製造品出荷額等が長野県第1位という実績と、豊かな自然そして環境は後世に継承すべき貴重な財産である。この田園を守り文化を継承していく上で産業の振興を大きな政策の柱に据えなければ、働く場所の確保と人口減に対応することも叶わない。

問 そんな思いから今回の田園産業都市に変更をお願いした。

市長 市長任期3年数カ月の間、拝見すると前市政から引き継いだ大きな課題解決に忙殺若しくは翻弄されてきたきらいがある事は大変だったとは思いますが、独自に行う事業施策の提案及び実行手法については甚だ違和感を持たざるを得ない場面が3つ4つと散見される。

例えて言えば、南部多目的運動広場事業、温浴施設整備事業、穂高会館大改修事業、皆予算ありきで事業化コンセプトから事業概要のアカウンタピリティは全く果たされておらず、そんな中で何億という予算を先に認めるといふ手法はいかがなものか。

市長 ある面ではしっかりと説明責任を果たしてはいたところもあつたと思う。全てを熟知している訳ではないので、それぞれの組織が市民の立場に立って親切丁寧な行政運営と説明責任はしっかりと果たさねば成らないと考えている。

任期も残すところ6カ月余りだが、喫緊の4課題には全力で取り組んできた。

そのうち一番難航している最終処分場の課題は、まだしっかりとしたところまで行っていないところである。もう一期市政を担うのかそこまでの判断は出来ていない。

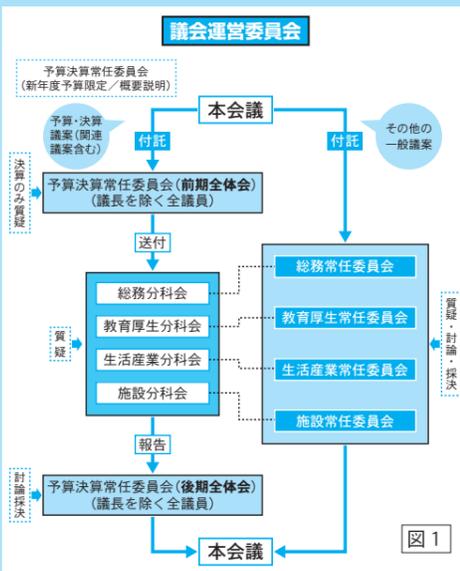
議会運営委員会

1月24日～25日（大津市）

議会改革の取り組みの一環として、「予算決算常任委員会」を設置し運用されている大津市の行政視察を行った。予算決算常任委員会（以下委員会）は、従来の分割付託による審査方法では、各委員会で表決結果が異なる可能性や修正案の提出が困難などの矛盾が生じるため、その解消を目的として設置している。また、予算議案及び決算議案の審査を一体的に行うことにより、

効率的かつ効果的な審査が可能となっている。委員会の構成は、議長を除く37名の議員で構成し、議場において開催している。また、下部組織として、所管別常任委員会に対応した分科会を設置し、予算決算議案及び関連議案の詳細審査を行っている。なお、運営に関する事項は、議会運営委員会において協議している。委員会の流れは、図1による。

新年度予算限定で、



本会議における委員長報告は、表決結果のみを報告している。大津市の予算決算常任委員会の目的は、十分理解できた。運用面では一年目であり、全体会議が開催できる会場が議場といった制約から課題が多い旨の説明を受けた。他市の研究をして、議会改革に取り組んでいきたい。



穂高駅を中心としたまちづくりについて

しん風会 召田 義人

問 穂高駅通りの、整備計画について伺う。

市長 穂高駅を中心としたまちづくりの方向性は市民の共有の財産である自然・景観を大切にすることに重点を置き、その中で観光・交流が盛んである市の快適な環境整備が求められているというふうにとらえられている。未整備の歩道や、幅員が狭く歩きにくい周辺道路無秩序な駅前空間の課題もあるが、地域の皆さんと話し合い、条件を整えて、財政的な裏づけも持ちながら取り組んでいきたい。

問 観光協会の現状と今後について伺う。

商工観光部長 平成24年4月から組織を法人化し、事務所も駅前に観光情報センターとして集約化ができた。情報発信のスペースも10倍程度に広げることができ、特産物の紹介・販売スペースも設置することができた。第3種旅行業の登録もいよいよ個別のあつせん業務旅行商品造成など、収益事業に取り組むことも可能となった。今後は多種多様な団体と連携して、観光協会というツールを最大限機能させ、来訪者にとっても、魅力ある地域であることを情報発信をしていきたい。

問 駅周辺の整備について伺う。

商工観光部長 駅前ロスター、駐車場、空き店舗の関係は整備されて40年ほど経過している。駅前のエリアをあれ以上に広げるには、再度の区画整理的なものが必要になってくる。この辺については検討していきたい。

問 穂高総合支所の建て替のスケジュールは。

穂高総合支所長 26年度に実施設計、27年度に支所・水道倉庫を解体し、外構工事、支所建設工事を予定している。新本庁舎完成後に、大会議室棟を残して、理想的な位置に改築できるよう計画している。

問 穂高神社の表参道（通称大門通り）の整備について伺う。

商工観光部長 国道から神社鳥居までの穂高192号線、現支所西側から神社南側の穂高191号線の見通しの悪いカーブの改良、歩道設置。来訪者だけではなく周辺を利用する市民のためにも計画していく。整備計画は26年度から5年程度の予定をしている。



観光の西玄関口穂高駅

議会広報特別委員会

1月30日～31日（高槻市・紀の川市）

議会広報特別委員会とのことである。2市の視察を行った。1月30日は大阪府高槻市議会、31日は和歌山県紀の川市議会である。高槻市は市制70年、人口31万6000人、議員数36名である。議会報告にも予算を割いていて、通常のタブロイド版以外にも点字版や音声版、DVDでの議会報告を行っている。点字版の読者は数十名とのことだが様々な市民ニーズに応えられるよう努めているとのことだった。

紀の川市は人口6万7000人、議員22名の構成であるが、安曇野市同様平成の大合併で5町が対等合併後、丁度1月に7階立ての新本庁舎が竣工したばかりであった。

議員が議会広報を編集しているのは安曇野市と同じで、心がけていることは次のとおり

- ①記事は、見出しを見ただけで内容がわかるように。
- ②余白や段落をうまく使い、スッキリ紙面重要。
- ③質問より答弁の記載に重点を置く。何を聞いたかではなく、何を引き出したかが重要。
- ④小学高学年が読んでも分かるように。議会用語はなるべく用いない。
- ⑤写真を多用する。参考になることは多かつたが、一方ちゃんとした文字でしか伝わらないことが多いのも確かである。見やすさ

と理解のしやすさを並立させるのは毎号の課題であると再確認した。なお、紀の川市議会の広報委員会は年に1回スキルアップを目的とし、毎日新聞社主催のセミナーを受講しているとのことだったが、当市でも考えてみたい。



高槻市での視察風景

訃報

大月晃雄議員が1月31日にお亡くなりになりました。享年65歳でした。環境経済委員会等に所属されていました。ご冥福をお祈りします。

福祉教育委員会審査報告（抜粋）

議案第 8 号	安曇野市介護保険条例の一部を改正する条例（賛成多数で可決）
審査内容	(原案に反対の意見) ・滞納している方にさらにプレッシャーを課すような条例だ。こうした条例を機械的に制定することには反対する。 (原案に賛成の意見) ・国の方針によるものでありやむを得ないと思う。納付したくてもできないという人には、別の手立てで手を差し伸べることを考えるべきだ。
議案第 19 号	安曇野市図書館条例及び安曇野市交流学习センター条例の一部を改正する条例（賛成少数で修正案否決、賛成多数で原案可決）
審査内容	(修正案に賛成の意見) ・利用者の方々からしっかり意見を聞いて、休館日の変更を考えていけばいいと思う。今の時点で休館日を統一することには反対する。 (原案に賛成の意見) ・市民への周知期間を設け、10月1日から月曜休館で統一してやってみればいいと思う。
議案第 29 号	平成 25 年度 安曇野市一般会計予算（福祉教育委員会所管事項）（賛成多数で可決）
審査内容	(原案に反対の意見) ・豊科南部多目的グラウンドの工事が、危険な状況が懸念される中で事業が進められていくことには問題があると考えて反対する。 ・児童館は、子どもたちがとても大事な時期を過ごす場所だが、職員の身分が保障できる職場環境を整えることも必要だ。それは市が責任を持って、直営でやっていくべきだと思うので反対する。 (原案に賛成の意見) ・南部多目的グラウンドについては、以前から必要性が出され、場所的にも最適である場所以外には適地はないということである。また、全体的な予算についても賛成する。 ・本来、児童福祉においても、市民全体の福祉についても行政が責任を負うべきものだと思うが、社協に指定管理したことについてはやむを得ないと思う。今回のこの件について、予算を通さないことには異議があるので賛成する。
議案第 33 号	平成 25 年度安曇野市介護保険特別会計予算（賛成多数で可決）
審査内容	(原案に反対の意見) ・地域包括支援センター業務というのは直接市民の方々に係るものなので、委託をしてしまうと、高齢者の状況把握も間接的になってしまう。市が責任を持って運営していくべきものだと考え、反対する。 (原案に賛成の意見) ・常に社協との連携を密にして努めてもらえば良いので賛成する。
平成 24 年 請願第 14 号	安心できる介護保険制度の実現を求める請願書（賛成少数で不採択）
審査内容	(採択に反対の意見) ・4項目の請願項目は、ひとつずつの項目はもっともであるが、すべてに賛成はできない。国の財政状況等の様子を見てほしいと思うので、意見書提出について反対する。 (採択に賛成の意見) ・4つの請願項目、どれをとっても切実な内容だ。保険料も改訂で値上げされたが、被保険者にとっては負担が大きい。生活援助の時間短縮にしても、中途半端で仕事が終わってしまう。介護職員の処遇の点でも、この請願項目は妥当であるので賛成する。

建設水道委員会審査報告（抜粋）

議案第 11 号	安曇野市市道に設ける道路標識の寸法に関する条例（全員賛成で可決）
議案第 14 号	安曇野市における高齢者、障害者等の移動等の円滑化のために必要な特定公園施設の設置の基準に関する条例（全員賛成で可決）
審査内容	(要望) ・第4条において、通路、階段、傾斜路の「路面は、滑りにくい仕上げがなされたものであること」と規定されている。雨などで濡れたときだけでなく、冬季の路面凍結も考慮したものにするよう要望する。
議案第 17 号	安曇野市布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例（全員賛成で可決）
議案第 29 号	平成 25 年度安曇野市一般会計予算（建設水道委員会所管事項）（全員賛成で可決）

総務委員会審査報告（抜粋）

議案第 29 号	平成 25 年度 安曇野市一般会計予算（総務委員会所管事項）（賛成多数で可決）
審査内容	(原案に反対の意見) ・新本庁舎の本体工事の問題、特殊な団体への支出の問題、移動系防災無線中継局工事についての問題がある。また、徴収についても費用対効果が明確にならない点があり、反対する。 (原案に賛成の意見) ・ここに盛り込まれている総務関係の予算は必要であり、特に災害対策費の中では防災用品購入用の助成事業やBCPの計画着手など新しい事業が取り上げられており賛成したい。
議案第 44 号	第 1 次安曇野市総合計画基本構想の変更について（賛成多数で可決）
審査内容	(原案に反対の意見) ・産業とともに響きあうという言葉にこだわっての基本構想の変更であるが、基本計画に影響はないことから、あえてこの言葉を入れる必要はないので反対。 (原案に賛成の意見) ・10年間というサイクルの中で、社会情勢の変化等を考えれば、見直しがあっても当然である。基本構想を市が変更したことによる、基本計画への反映部分も議会に説明があり、納得したので賛成する。
議案第 45 号	安曇野市新本庁舎建設工事請負契約について（賛成多数で可決）
審査内容	(原案に反対の意見) ・非常に内容があいまいである、慎重審議をせざるを得ない。入札問題・総合方式・分離分割問題そして市内業者の育成問題、工事の内容についても示されないで反対。 (原案に賛成の意見) ・地元業者の育成が配慮されているかについては、分離分割発注でも地元業者が受ける資格のある業者がない。そういった中で今回の請負契約は妥当だということで賛成。
請願第 1 号	市の広報宣伝事業にあづみ野エフエム放送を活用する請願（継続審査）
審査内容	(審査を継続したいとする意見) ・もう一度、民間企業が請願をすることについて調査、研究をしたいので継続審査としたい。

環境経済委員会審査報告（抜粋）

議案第 4 号	安曇野市国民健康保険税条例の一部を改正する条例（全員賛成で可決）
議案第 5 号	安曇野市地下水の保全・涵養及び適正利用に関する条例（全員賛成で可決）
審査内容	(要望) ・第7条にある水環境基本計画をつくるには、十分な研究が必要となると思うので、条例制定後、直ちに計画策定に取り組んでほしい。
議案第 6 号	安曇野市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例（全員賛成で可決）
議案第 9 号	安曇野市農業農村振興基本条例（全員賛成で可決）
審査内容	(意見) ・農業農村振興計画推進委員会では、振興計画の点検とか評価をやっていくということであり、会議は年2回を予定しているということだが、もっと多くの時間がかかるのではないかと思う。
議案第 20 号	平成 24 年度 安曇野市一般会計補正予算（第 4 号）（環境経済委員会所管事項）（全員賛成で可決）
議案第 22 号	平成 24 年度安曇野市国民健康保険特別会計補正予算（第 4 号）（全員賛成で可決）
議案第 23 号	平成 24 年度安曇野市後期高齢者医療特別会計補正予算（第 3 号）（全員賛成で可決）
議案第 27 号	平成 24 年度安曇野市産業団地造成事業特別会計補正予算（第 2 号）（全員賛成で可決）
議案第 29 号	平成 25 年度安曇野市一般会計予算（環境経済委員会所管事項）（全員賛成で可決）
審査内容	(意見・要望) ・堆肥センターは、利用される方のことも考え、公の施設の指定管理者として行うかどうか今後の施設運営を考えたほうが良い時期ではないかと思う。 ・松くい虫対策として散布する農薬は、影響を常に考えて事業を進めてほしい。 ・枯損木対策で樹種転換も含め、山林管理の方針をしっかりと決めて実施してほしい。
議案第 31 号	平成 25 年度安曇野市国民健康保険特別会計予算（全員賛成で可決）
審査内容	(要望) ・医療費高騰抑制のため、生活習慣病診断の受診率を高めるためのPRを続けてほしい。

市民の

The Voice

声

いじめの無い社会へ

いじめ

を苦しめた小中学生の話題が新聞、テレビをにぎわしている。内容を聞けばとても平常心ではいられない残酷さである。我々の当時に思い出してみても、多少の間はずれとか、それに近いことはあったと思うがこんなにひどいことはなかった。

大津

市の例では専門家を呼んで原因を究明し対策を国レベルで考えている。自殺まで子供を追いこまれた両親の気持を考えると自分も子供を持つ親として身の毛のよたつ思いである。決してあつてはならないことだ。なぜむごいじめをするような子供に



浅川 泰通さん
(堀金)

なつてしまったのか、精神的・肉体的暴力を容赦なく際限なく加える。正気の沙汰ではない。その対策についてさまざまな方面の方のコメントが又は教育専門家の意見が伝わってくる。

教育

委員会はどうすればいいか。学校現場は、教師一人一人は、校長はどう向きあうべきか、さまざま意見がとびかっている。

最近

は文科省が修身の時間、考え方も大切に重要である。がもう一つ一番大事なところが論じられていないような気がしてならない。それは各家庭での子供へのかかわりで

ある。それは幼時のきちんとしたしつけが将来必ず生きてくると思うからである。

とりたてて高度な専門知識をもつて接する必要はない。ごく普通の家庭がごく普通の生活をすればいいのである。悪いことは悪いときちんと教えてやる。我が子に愛情を注いで。しかしながら様々な事情から平穏な家庭生活に身をおけない子供達がいることも事実である。気の毒なことである。

一個人

としてできること、社会全体の中でもう一度家庭の大切さを問いかける機会を議会・行政も考えてはいたらないでしょうか。

編集後記



◆雪も多く、強風が吹き荒れた寒い冬もいつの間にか過ぎ、新緑のまぶしい過ごしやすい良い季節となりました。新入園入学の子供たちの弾んだ声が聞こえてきます。月日の経つのも早いもので10月6日には市長および議員の改選投票日を迎えることとなります。地方分権時代を迎え当議会も議会改革委員会を設置し市議会基本条例づくりに励んでいます。市民の皆様方からのご意見や意見交換会を開いたりして6月の条例制定に向け進めております。できうれば市自治基本条例も合わせて制定できればと思う今日このごろです。

◆百聞は一見に如かず。広報紙コンクール優秀賞、奨励賞受賞という和歌山県紀の川市議会広報視察研修へ。記事は見出しと写真で7割方、内容がわかるように工夫。見やすい、読みやすい、わかりやすい。余白がうまく生かされている。読むのは市民。なるほど、当方の議会だよりはひたすら真面目にぎっしりと。正直どれほどの皆さんが目を通して下さることだろうか。できることから始めよう。いくぶん努力のあとが伝わるでしょうか。

◆百聞は一見に如かず。広報紙コンクール優秀賞、奨励賞受賞という和歌山県紀の川市議会広報視察研修へ。記事は見出しと写真で7割方、内容がわかるように工夫。見やすい、読みやすい、わかりやすい。余白がうまく生かされている。読むのは市民。なるほど、当方の議会だよりはひたすら真面目にぎっしりと。正直どれほどの皆さんが目を通して下さることだろうか。できることから始めよう。いくぶん努力のあとが伝わるでしょうか。

議会広報特別委員会

- 委員長 吉田 満男
- 副委員長 相田登美枝
- 委員 小松洋一郎 畠山 倉光
藤原 陽子 山地 重雄
内川 集雄 下里喜代一
平林 徳子 丸山 祐之

*気軽にご意見をお聞かせください。

平成 25 年安曇野市議会 6 月定例会会期日程 (予定)

5月31日(金)～6月25日(火)頃を予定。
皆様の傍聴をお待ちしています。

安曇野市議会だより 第30号

〒399-8211 長野県安曇野市堀金烏川2750-1 安曇野市堀金総合支所内

http://www.city.azumino.nagano.jp/gikai/index.html
E-mail: gikai@city.azumino.nagano.jp

発行 長野県安曇野市議会
編集 議会広報特別委員会
印刷 有限会社 アルプス印刷

平成 25 年 5 月 15 日発行
TEL 0263-71-2156 FAX 0263-71-2150

R100 古紙配合率 100%
再生紙を使用しています。

